有田・小田部59

― 有田遺跡群第266・267・268次調査報告 ―

福岡市埋蔵文化財調査報告書第１３８６集

２０２０

福岡市教育委員会

有田・小田部59

― 有田遺跡群第266・267・268次調査報告 ―

福岡市埋蔵文化財調査報告書第１３８６集

遺跡略号　ART-266・267・268
調査番号　1819・1822・1831

２０２０

福岡市教育委員会

序

北部九州は玄界灘を介して大陸・朝鮮半島と一衣帯水の関係にあり、古代より双方の交流が絶え間なくおこなわれてきました。なかでも福岡市には、旧石器時代から中世にかけての遺跡が数多く存在します。近年の著しい都市化により失われるこれらの文化財を後世に伝えることは、本市の重要な責務です。

本書は戸建住宅・共同住宅建設に伴う有田遺跡群第266・267・268次発掘調査について報告するものです。この調査では弥生時代から近世の遺構・遺物が多数出土しました。

これらは地域の歴史の解明のためにも重要な資料となるものです。今後本書が文化財保護についての理解と認識を深める一助になるとともに、学術研究の資料としてもご活用いただければ幸いに存じます。

最後になりましたが、事業者様をはじめとする関係者の方々には発掘調査から本書の作成に至るまでご理解とご協力を賜りました。心から感謝申し上げます。

令和２年３月25日

福岡市教育委員会

教育長　星子　明夫

例　　言

1．『有田・小田部59』のうち「有田遺跡群第266次調査報告」は、福岡市教育委員会が早良区有田１丁目32-6、32－7において戸建住宅建設に伴って行った発掘調査の報告書である。
2．『有田・小田部59』のうち「有田遺跡群第267次調査報告」は、福岡市教育委員会が早良区有田２丁目16－7において、戸建住宅建設に伴って行った発掘調査の報告書である。
3．『有田・小田部59』のうち「有田遺跡群第268次調査報告」は、福岡市教育委員会が早良区小田部３丁目284番において、共同住宅建設に伴って行った発掘調査の報告書である。
4．報告する調査の基本情報は下表のとおりである。
5．本書に掲載した遺構・遺物実測図の作成は、松﨑友理、板倉有大、大庭友子、清金良太が行った。
6．本書に掲載した遺構および遺物写真の撮影は、松﨑、板倉、清金が行った。
7．本書に掲載した挿図の浄書は、松﨑、板倉、大庭、清金が行った。
8．本書に掲載した国土座標値は、世界測地系（第Ⅱ座標系）によるものである。
9．遺構の呼称は、住居をSC、建物をSB、溝をSD、土坑をSK、ピットをSPと略号化した。
10．遺物番号は通し番号とし、挿図と図版の遺物番号は一致する。
11．本書に関わる記録・遺物等の資料は、福岡市埋蔵文化財センターに保管される予定である。

遺跡名	有田遺跡群	調査次数	第266次	遺跡略号	ART－266
調査番号	1819	分布地図図幅名	原 82	遺跡登録番号	0309
申請地面積	233㎡	調査対象面積	68㎡	調査面積	52㎡
調査地	福岡市早良区有田１丁目32－６、32－７			事前審査番号	30－2－227
調査期間	平成30（2018）年９月10日～９月20日				

遺跡名	有田遺跡群	調査次数	第267次	遺跡略号	ART－267
調査番号	1822	分布地図図幅名	原 82	遺跡登録番号	0309
申請地面積	773.87㎡	調査対象面積	60㎡	調査面積	58㎡
調査地	福岡市早良区有田２丁目16－７			事前審査番号	30－2－174
調査期間	平成30（2018）年９月25日～９月29日				

遺跡名	有田遺跡群	調査次数	第268次	遺跡略号	ART－268
調査番号	1831	分布地図図幅名	原 82	遺跡登録番号	0309
申請地面積	1,057.48㎡	調査対象面積	143.86㎡	調査面積	111.6㎡
調査地	福岡市早良区小田部３丁目２８４番			事前審査番号	30－2－351
調査期間	平成30年11月13日～11月30日				

本文目次

Ⅰ．遺跡の立地と環境 …… 1
Ⅱ．第266次調査の記録（松﨑） …… 3
　１．調査に至る経緯 …… 3
　２．調査の組織 …… 3
　３．調査の概要 …… 4
　４．遺構と遺物 …… 4
　５．まとめ …… 6
Ⅲ．第267次調査の記録（板倉） …… 7
　１．調査に至る経緯 …… 7
　２．調査の組織 …… 7
　３．調査の概要 …… 7
　４．遺構と遺物 …… 7
　５．まとめ …… 9
Ⅳ．第268次調査の記録（清金） …… 11
　１．調査に至る経緯 …… 11
　２．調査の組織 …… 11
　３．調査の概要 …… 20
　４．遺構と遺物 …… 20
　５．まとめ …… 20

挿図目次

第１図　有田遺跡群位置図（1/25,000） …… 2
第２図　調査区東側全景（南から） …… 3
第３図　総柱建物跡（南東から） …… 3
第４図　調査区位置図（1/1000・『有田・小田部　第11集　福岡市埋蔵文化財調査報告書第234集』から引用・一部改変） …… 4
第５図　遺構配置図（1/150） …… 4
第６図　SC実測図（1/80）・SC出土遺物（1/3・1/2）、SB実測図（1/80）・SB出土遺物（1/3・1/2） … 5
第７図　SD北壁土層断面図（1/80）・SD出土遺物（1/3） …… 6
第８図　調査区位置図（1/1500） …… 7
第９図　調査区全体図（1/80） …… 8
第10図　SD01北壁土層実測図（1/40） …… 8
第11図　SD01、SK02出土遺物実測図（1/3） …… 9
第12図　有田遺跡群調査地点位置図（1/7,500） …… 12

第13図　調査区位置図（1/1,000）　…… 16
第14図　調査区全体図（1/100）　…… 17
第15図　SD001（1/80）・SK003（1/60）実測図　…… 18
第16図　SD001出土遺物実測図（7は1/4、他は1/3）　…… 19

図版目次

第267次調査
図　版１（１）調査区鳥瞰（東から）
（２）SD01掘削状況（南から）
（３）SD01（北から）
（４）SD01北壁土層（南から）

第268次調査
図　版１（１）調査区全景（東から）
（２）調査区全景（北から）
（３）作業風景
図　版２　出土遺物

表　目　次

第１表　有田遺跡群調査一覧表（１）　…… 13
第２表　有田遺跡群調査一覧表（２）　…… 14
第３表　有田遺跡群調査一覧表（３）　…… 15

Ⅰ．遺跡の立地と環境

玄界灘に北面し､背後に背振･三郡山系をひかえる福岡市には､これらより派生する山塊､丘陵によって画される中小の平野が展開しており、東側から粕屋、福岡、早良、今宿平野と呼称される。今回報告する有田遺跡群はこのうちの早良平野に位置する。

早良平野は現在の行政区分では早良区、西区に位置している。西は背振山系から北側に派生している飯盛山・長垂山が伸びて今宿平野と区画される。東は油山から低丘陵が連なり、福岡平野との境を示している。また、平野中央部を博多湾へと北流する中小河川による沖積平野でもあるが、中小河川の下流域では第三紀丘陵や洪積台地が点在している。平野中央部西側の室見川と金屑川に挟まれた地域はAso-4火砕流体積による下層の八女粘土・上層の鳥栖ローム層からなる中位段丘上に展開する。この段丘は、南北約1.7㎞、東西約0.7㎞にわたり、有田遺跡群の最高所では標高15mを測る。また、室見川・金屑川による浸食を受け、大小の谷が形成されているため、八手状に広がる形状をしている。

有田遺跡群の本格的な調査は、区画整理事業に伴う1967年の九州大学考古学研究室による第１次調査を始まりとし、1975年以降は福岡市教育委員会による緊急調査を主体にこれまで270次の調査が行われている。

旧石器時代は中世後半期の造成により包含層の依存状況は良好ではないが、ナイフ形石器・ポイント等の遺物が確認でき、第６・131次調査では包含層を確認している。

縄文時代では台地の南西部で第５次・116次調査が行われ、中期から後期の立柱痕跡が確認できる貯蔵穴群が検出されている。また、南西側に位置する有田七反田前遺跡からは帯文土器などが出土しており、終末期の様相を伺い知ることができる。

弥生時代では、前期から中期にかけて台地の様相は活発な活動状況をみせ、遺構や遺物が台地全体において検出されるようになるが、後期では活動状況は縮小する。前期初頭の台地南部では、第２・45次・54次・77次調査を中心に高所を取り囲むように楕円形状の断面「V」字状の環濠がみられる。その規模は長径約300m、短径約200mである。その後別地点にも環濠が確認でき、各所に集落が展開するが、後期前半以降は断絶する。また、甕棺を主体とする墓地は数ケ所みられるが、長期に及ぶ墓域は限定される。現在の所２つの墓域において銅矛や前漢鏡等の副葬品、鋳造鋳型などが確認されており、有力者の存在が伺える。

古墳時代では、弥生時代終末期から続いて集落が形成され、中期段階では韓半島系の軟質土器や陶質土器が多く出土し、韓半島との交易・交流を窺い知ることができる。

古墳時代後期から古代にかけては、柵や溝に区画された大型の倉庫群が各所にあり、那津官家や早良郡衙に関わる施設と指摘されている。また、早良平野は律令期には早良郡にあたり、「和名抄」によると、比伊・能解・額田・早良・平群・田部・曽我の７郷があり、有田遺跡群はそのうちの田部郷に含まれるものと考えられている。

中世では戦国期の遺構が顕著に確認でき、濠で方形に区画された遺構群が数か所で確認されている。これらは大内氏の支配下で設けられた郡代や在地の有力者の城館であった可能性が考えられる。また、江戸時代に書かれた『筑前国続風土記拾遺』には戦国期の大友氏の家臣、小田部氏の里城が有田村にあったと書かれている。本書にも掲載しているが、第267次で掘が確認されており、小田部城に関わると考えられている。

また、近世では屋敷の区画溝が268次周辺から検出されており、今宿で制作された瓦や、高取焼などの遺物が確認されている。

1．有田遺跡群　2．原遺跡　3．原東遺跡　4．飯倉遺跡群　5．藤崎遺跡
6．西新町遺跡　7．次郎丸高石遺跡　8．免遺跡　9．田村遺跡

第１図　有田遺跡群位置図（1/25,000）

Ⅱ．第266次調査の記録

１．調査に至る経緯

福岡市教育委員会は、株式会社NKトラストより申請された福岡市早良区有田１丁目32－６、32－７における戸建住宅２棟の建設に伴う埋蔵文化財の有無についての照会を平成30年６月12日付で受理した。申請面積は233㎡、受付番号は30－２－227である。

申請地は有田遺跡群の包蔵地内西寄りに位置していることから、埋蔵文化財課事前審査係は確認調査を実施し、地表面下約30cmで遺構を検出した。この成果をもとに協議を行い、工事によってやむを得ず破壊される68㎡を対象に、記録保存のための発掘調査を実施することで合意した。発掘調査については株式会社NKトラストと福岡市との間で委託契約を締結し、平成30年９月10日に着手、平成30年９月20日に終了した。資料整理および報告書作成については令和元年度に行った。

２．調査の組織

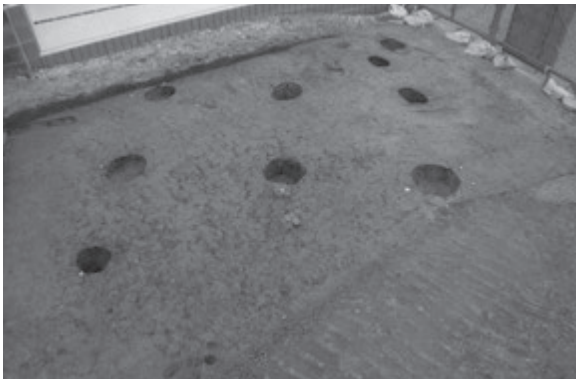
調査委託：株式会社NKトラスト

調査主体：福岡市教育委員会

（発掘調査：平成30年度　整理報告：令和元年度）

調査総括	文化財活用部埋蔵文化財課	課長	大庭　康時（平成30年度）
			菅波　正人（令和元年度）
		調査第１係長	吉武　　学
庶　　務	文化財活用課	管理調整係	松尾　智仁（平成30年度）
			松原加奈枝（令和元年度）
事前審査	埋蔵文化財課	事前審査係長	本田浩二郎
		主任文化財主事	田上勇一郎
		文化財主事	朝岡　俊也
発掘調査	埋蔵文化財課調査第１係	文化財主事	松﨑　友理

第２図　調査区東側全景（南から）



第３図　総柱建物跡（南東から）

３．調査の概要

本調査地は有田遺跡群の包蔵地内西寄りに位置し，北東から南西に向かって下がる緩斜面に立地する。戸建住宅の開発面積233㎡のうち、駐車場として切り下げられる北側68㎡を調査した。調査地北側の標高は約12.6m、南側の標高は約13.2mを測る。調査区内は地表面から約30cmで褐色の鳥栖ローム層に達し、遺構面の標高は約12.7 ～ 12.85mである。

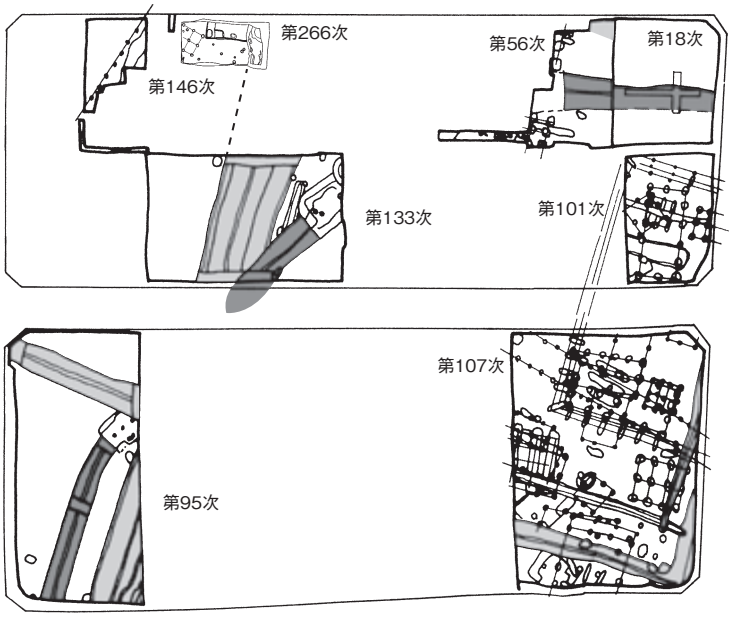
調査地を東西に分割して調査を実施し、まず、平成30年９月10日に調査地東側の表土剥ぎを行った。東側では竪穴住居跡１軒､溝１条､ピットを検出した。18日に東側の埋め戻しと西側の表土剥ぎを行い、総柱建物跡１棟を検出した。19日に人力で柱穴を埋め戻し、20日に機材の撤収および土器の洗浄作業などを行い、調査を終了した。出土遺物は土師器を中心に、輸入陶磁器、石製品、鉄製品など、コンテナケース１箱分である。

４．遺構と遺物

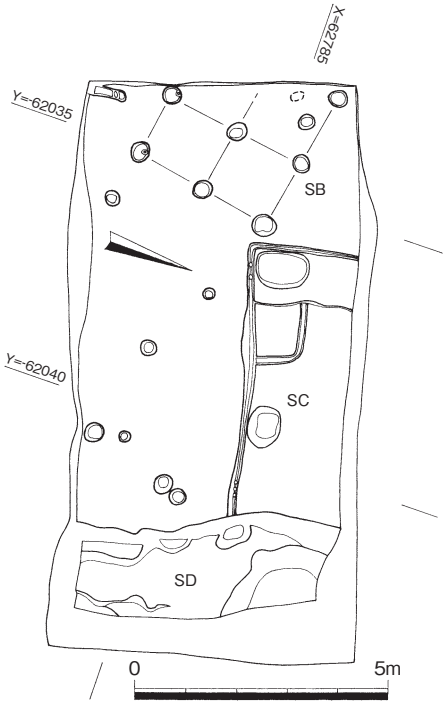
（１）住居（SC）（第２・６図）

竪穴住居跡は東西方向で5.4m以上、南北方向で2.2m以上を測る。西側にL字を呈するベッド状遺構、南側に屋内土坑と考えられる土坑を１基検出した。床面までの深さは約10cmで、その下に8 ～ 10cm程度の貼床が確認された。柱穴は確認できず、おそらく調査区外北側に位置すると考えられる。出土遺物の年代から弥生時代終末～古墳時代初頭と推定される。

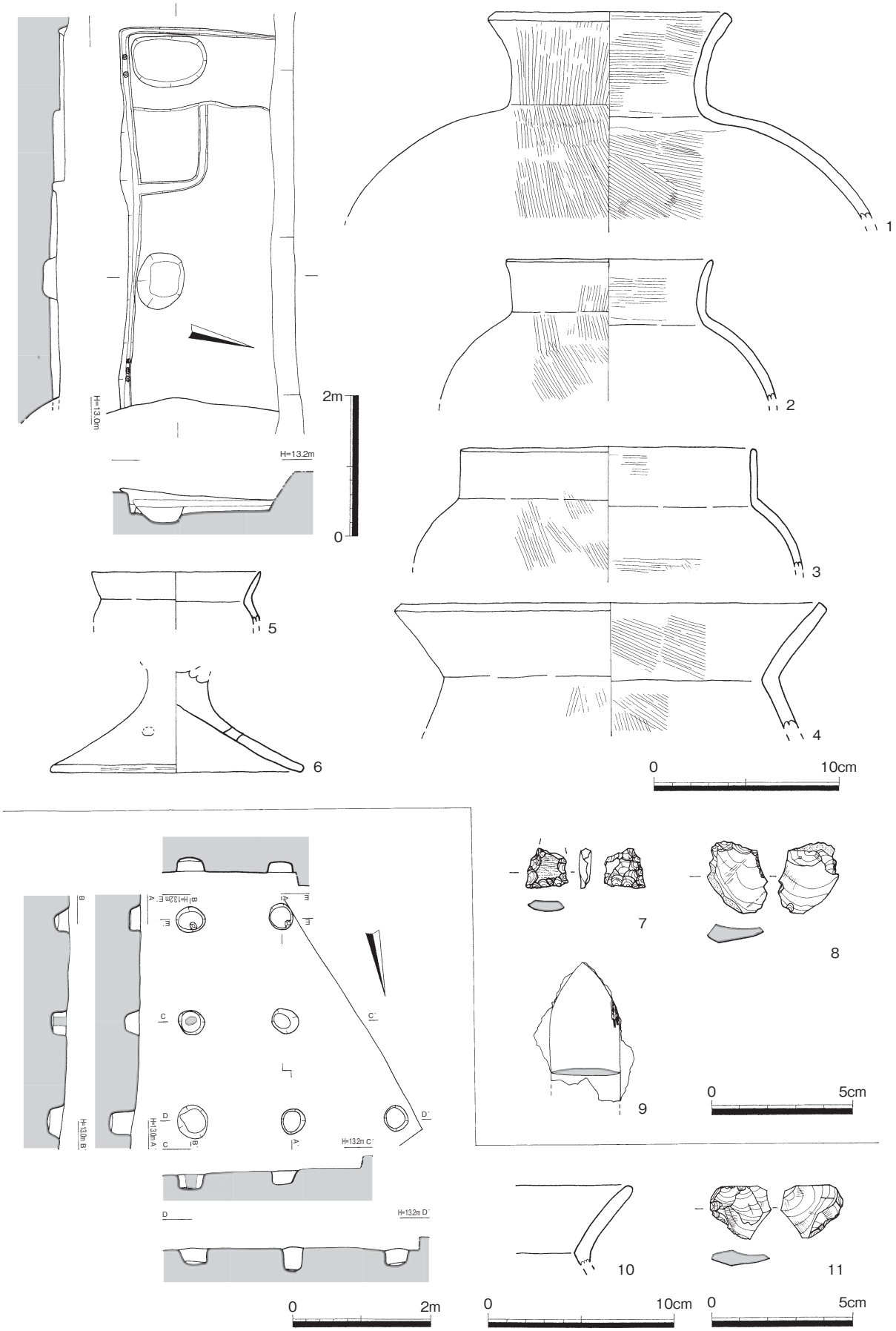
１～４は弥生土器である。１～３は壷で、１は復元口径13cmを測る。４は甕で、復元口径23cm、摩滅しているが口縁部にハケメ痕跡が認められる。５・６は土師器である。５は小型丸底壷で、器面の色調は橙色を呈する。６は高坏の脚部で､直径約７mmの透かし孔が３ヵ所穿たれていたとみられる。



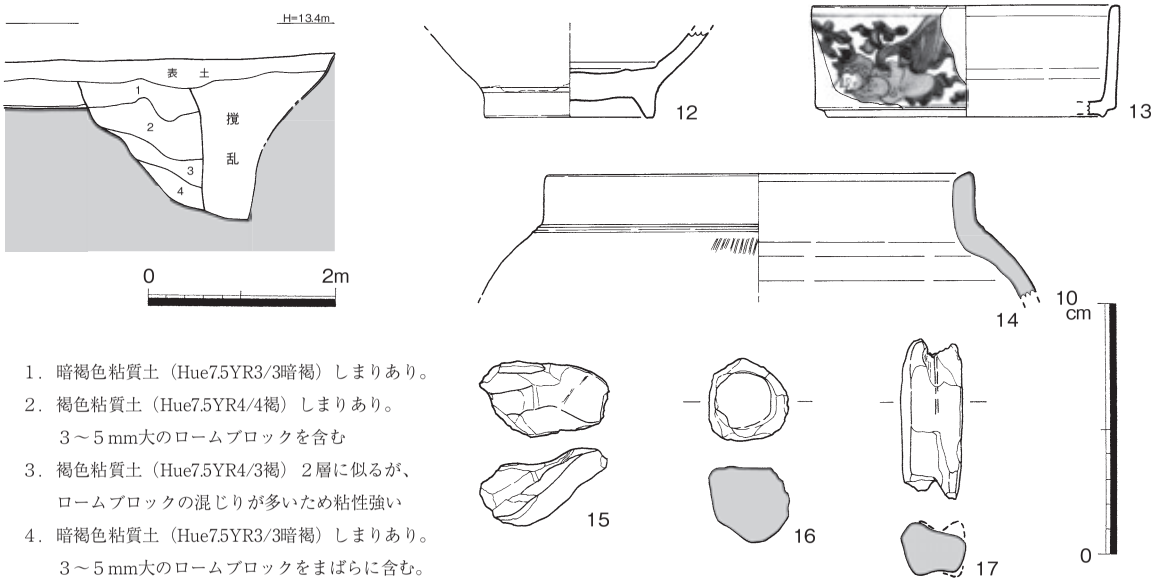
第４図　調査区位置図（1/1000・『有田・小田部　第11集　福岡市埋蔵文化財調査報告書第234集』から引用・一部改変）



第５図　遺構配置図（1/150）



第６図　SC実測図（1/80）・SC出土遺物（1/3・1/2）、SB実測図（1/80）・SB出土遺物（1/3・1/2）



第７図　SD北壁土層断面図（1/80）・SD出土遺物（1/3）

７は部分磨製の石鏃片、８は腰岳産の剥片である。９は鉄鏃の鏃身部で、表面に木質が付着している。

（２）総柱建物跡（SB）（第３・６図）

総柱建物跡は２間×２間以上で、柱の間隔は約1.4mを測る。柱穴の掘方はいずれも円形を呈し、埋土の主体は黒褐色粘質土である。柱の直径は痕跡から約15cmと推定される。土器細片のみのため、時期は不明確である。

10は土師器の甕口縁部で、胎土に白色砂粒を少量含む。11は黒曜石で楔型石器の可能性がある。

（３）溝（SD）（第２・７図）

溝は調査区東端に位置し、掘方は東側のみ検出された。深さは約70cmで、調査区北東端ではさらに60cmほど深い。底面は西側から東端に向かって傾斜している。出土遺物の年代から、中世に掘削され、近世に完全に埋没したとみられる。

12は白磁の椀である。高台は露胎、見込みには釉のかきとりが認められる。13は染付の段重で、呉須の発色は良好である。14は須恵器の壷である。復元口径約16.8cmを測り、器面の色調は灰白色を呈する。15は土製の杓子である。胎土に細かな白色砂粒を多く含み，器面の色調は淡赤褐色を呈する。16は球状石製品で、直径約3.2cm、厚さ2.9cmを測る。17は滑石製の石錘である。

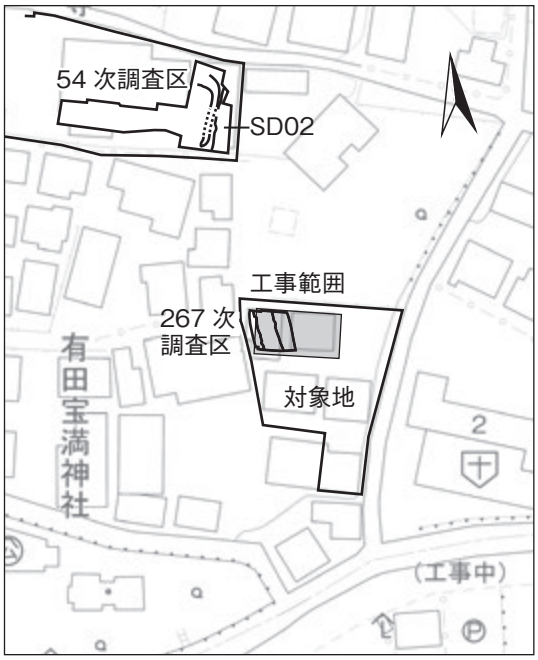
５．まとめ

本調査地では竪穴住居跡１軒、総柱建物跡１棟、溝１条が検出された。竪穴建物跡については西側でL字を呈するベッド状遺構、南側で屋内土坑が検出された。時期は弥生時代終末～古墳時代初頭とみられる。総柱建物跡は少なくとも２間×２間以上の規模と考えられ、出土遺物が少量かつ細片であることから時期は不明確であるものの、土師器の出土などから古墳時代と推定される。調査地の西側の第146次調査地と調査地南側の第133次調査地で検出された古墳時代の柵との関連性をうかがうことができ、柵の時期は６世紀中頃以降と推定されている。溝については、調査地南側の第95・133次・調査地北側の第55次で検出された大溝と同一のものとみられる。133次の調査成果では、大溝は２段掘りで両側に幅広い平坦面を有していることから、本調査地では１段目の平坦面を検出したものとみられる。

Ⅲ．第267次調査の記録

１．調査に至る経緯

有田遺跡群および小田部城推定地内の対象地内工事（第８図）について、平成30年５月28日付「埋蔵文化財の有無について（照会）」「埋蔵文化財発掘の届出について」が提出された（受付番号30－２－174）。照会・届出を受理した埋蔵文化財課事前審査係は、９月３日に確認調査を実施した（試掘番号30－127）。その結果、対象地のGL-25cmで大溝を確認した。埋蔵文化財の保護について事業者と協議した結果、事前に国庫補助事業として発掘調査を行うこととなった。



第８図　調査区位置図（S＝1/1500）

２．調査の組織

調査委託：個人　**調査主体**：福岡市教育委員会（発掘作業：平成30年度、整理作業：令和元年度）

調査総括：福岡市経済観光文化局文化財活用部

埋蔵文化財課　課長　大庭康時（平成30年度）　菅波正人（令和元年度）

調査第１係長　吉武学　事前審査係　係長　本田浩二郎　主任文化財主事　田上勇一郎　朝岡俊也

（調査担当）調査第１係　板倉有大　（整理報告担当）埋蔵文化財センター　板倉有大

文化財活用課　管理調整係　係長　藤克己　松原加奈枝

３．調査の概要

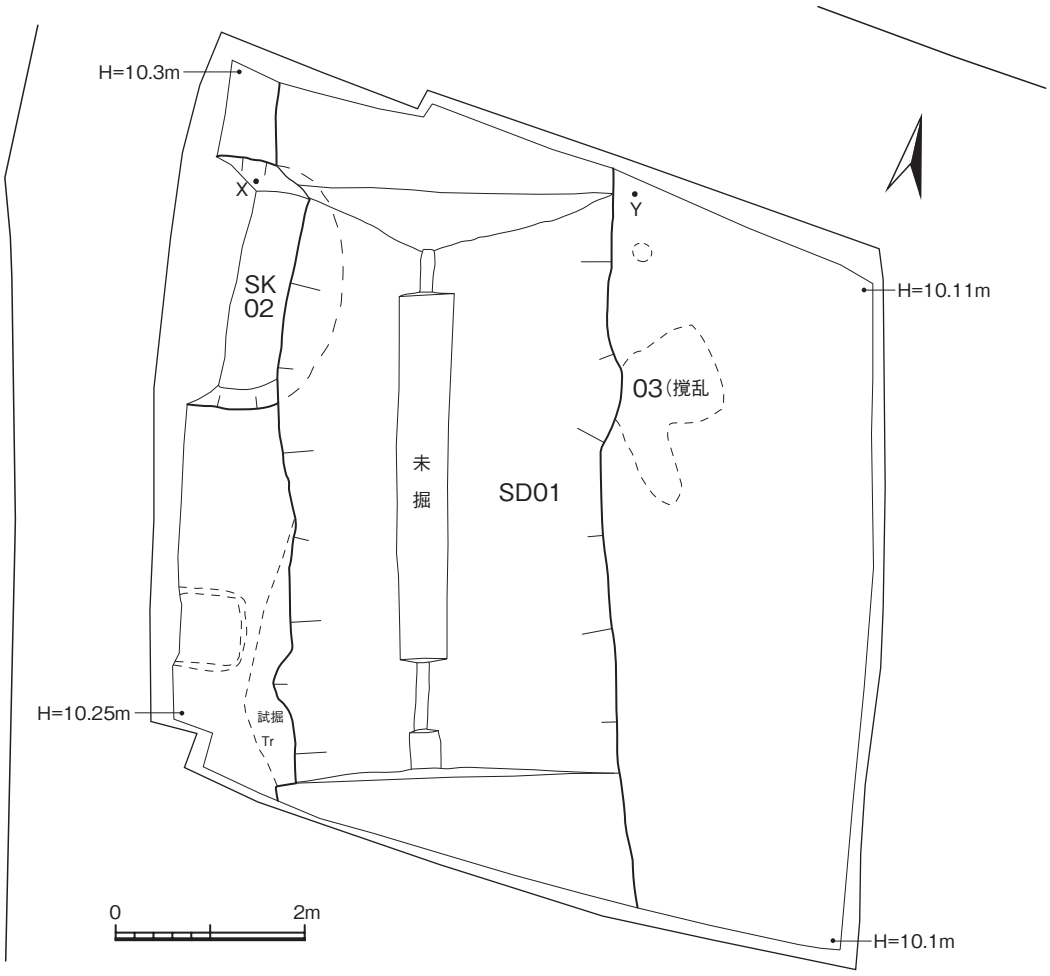
試掘で工事範囲の東側は削平のため遺構がないと判断され、大溝の範囲のみが調査対象であったため、大溝をできる限り検出する形で、調査区を設定した。大溝の範囲を確定した後、調査期間と掘削上の安全を考慮し、大溝の大半を重機で掘削した。また、大溝の最下面は、身動きの取りにくい薬研堀内で、湧水を含んだ重い粘土を3m上に排出するという作業であり、作業の危険性が高いと判断して、完掘を断念した。遺構の掘削は発掘作業員５名で行った。遺物は小型コンテナ１箱分が出土した。

４．遺構と遺物（第９・10・11図、図版１）

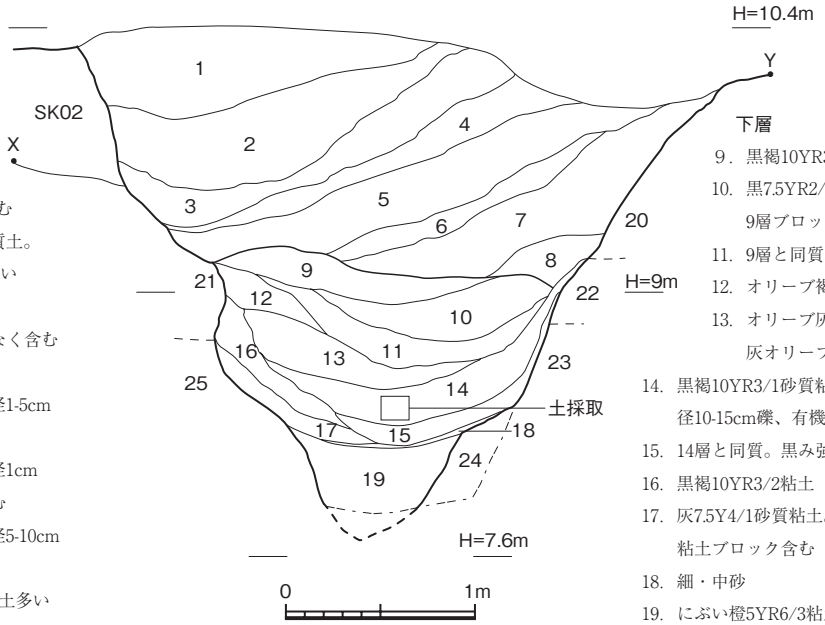
SD01　幅3.6m、深さ2.7mの薬研堀で、溝の向きは磁北よりやや西に振れる。V字状に掘削後、19・18層（地山崩落土と水成砂）→17～９層（西側からの堆積と自然堆積）→８～１層（東側からの堆積）の過程で埋没する。埋土には径15～20cmの礫が散漫に含まれていた。標高約8.2mから湧水がはじまる。将来の自然科学分析に備えて14層（有機物層）の土を採取している。

出土遺物（第11図1～４）　1は試掘出土の陶器皿で、口径13.8cm前後。胎土は赤茶（橙）色、施釉はにぶい橙～橙色で、内面に褐色鉄釉で笹状文を描く。底部外面は露胎。2は中層出土の陶器皿で、復元口径12.9cm。胎土は褐色、施釉は淡い灰白色。底部外面は露胎。3は陶器小碗で、復元口径10.6cm。胎土は暗褐色、暗褐色～黒色釉を地に青白色釉をかける。畳付は釉剥ぎ。4は北壁11層出土の陶器碗で、復元口径10.5cm。胎土は黒褐色で、白色釉を地に褐色釉がかかる。

SK02　大型土坑で、SD01を切る。黄褐・褐色土に炭、小礫、瓦、土器、灰が層状に堆積する。



第９図　調査区全体図（S＝1/80）



上層

1．暗赤褐5YR3/2粘質土。
　径10cm黒ブロック土含む
2．にぶい黄褐10YR4/3粘質土。
　径1-5cm黒ブロック土多い
3．黒ブロック土。径1-5cm
　にぶい黄褐ブロック少なく含む
4．2層と同質
5．暗褐10YR3/3粘質土。径1-5cm
　黒ブロック土やや多い
6．暗褐10YR3/4粘質土。径1cm
　黒ブロック土少なく含む
7．暗褐10YR3/3粘質土。径5-10cm
　黒ブロック土やや多い
8．7層と同質。黒ブロック土多い

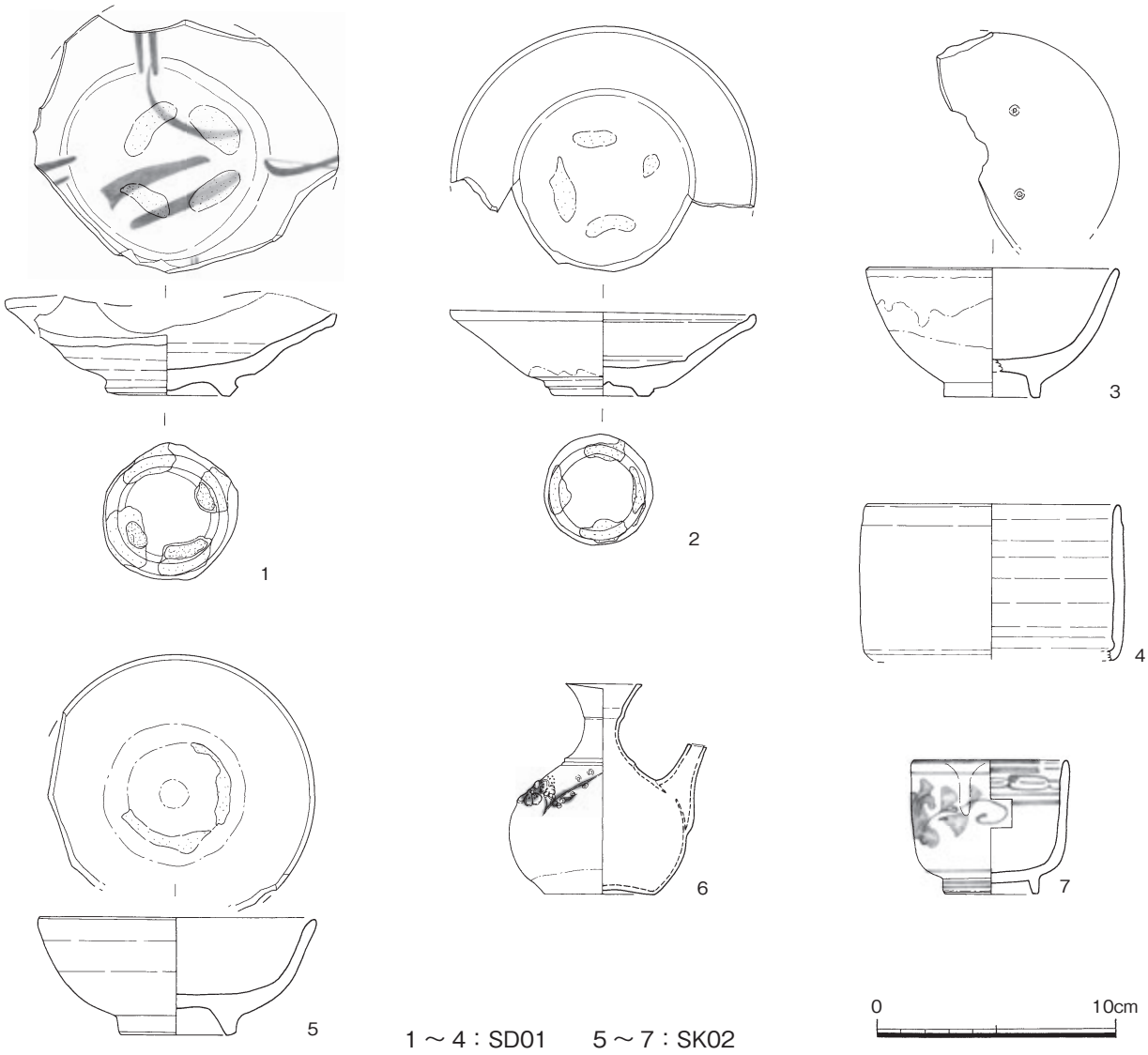
下層

9．黒褐10YR3/2粘土
10．黒7.5YR2/1粘土。
　9層ブロック土含む
11．9層と同質。有機物、土器含む
12．オリーブ褐2.5Y4/4粘土
13．オリーブ灰2.5GY5/1粘土。
　灰オリーブ7.5Y5/2砂質粘土ブロック混
14．黒褐10YR3/1砂質粘土。
　径10-15cm礫、有機物含む
15．14層と同質。黒み強い
16．黒褐10YR3/2粘土
17．灰7.5Y4/1砂質粘土。暗緑灰
　粘土ブロック含む
18．細・中砂
19．にぶい橙5YR6/3粘土と細中砂の互層

地山

20．橙7.5YR6/6粘質土。黒色土ブロック含む　21．灰褐7.5YR4/2粘土。にぶい黄2.5Y6/3粘土ブロック含む
22．オリーブ黒10Y3/2砂質土　23．黒褐2.5Y3/2砂質土　24．暗オリーブ褐2.5Y3/3砂質粘土　25．暗オリーブ5Y4/4砂質土

第10図　SD01 北壁土層実測図（S＝1/40）



第11図　SD01、SK02出土遺物実測図（S＝1/3）

出土遺物（第11図5～7） 5は陶器碗で、復元口径11.6cm。胎土は赤褐色で、施釉はオリーブ褐～暗赤褐色。見込みと畳付の釉を剥ぐ。6は白磁水注で、器高8.8cm。梅花浮文部分に染付。底部外面は露胎。7は染付茶碗で、口径6.6cm。外面に草花文を描く。畳付は釉剥ぎ。

5．まとめ

対象地の北西、荒平山西応寺境内の発掘調査（54次、市報告書427集、1995年）で確認された南北方向のV字溝SD02は形状・規模が本報告SD01と類似する。ただし、SD02の底面標高は10mほどで、本報告SD01より2.4mほど高い。SD02は下層から16世紀代の土師器坏が出土し、中層の礫群から17世紀以降の唐津焼が出土している。本報告SD01では下層遺物を確認できなかったが、中層から高取焼が出土している。溝の中層で堆積が不連続となる現象について54次報告では、濠の廃絶後の切通し道利用を想定している。本報告SD01では9層上面の硬化などは認められず、下層は腐植土を形成しながらの自然堆積であった。8層以上は地山や弥生土器を含む周辺包含層が混ざった土で、東側からの人為的な堆積（埋め立て）の可能性がある。これらの資料は、小田部城の伝承など地域の歴史を復元するための貴重な財産なので、今後も周辺の開発工事には注意が必要となる。

図 版 1

（1）調査区鳥瞰（東から）

（2）SD01掘削状況（南から）

（3）SD01（北から）

（4）SD01 北壁土層（南から）

Ⅳ．第268次調査の記録

１．調査に至る経緯

福岡市教育委員会は、同市早良区小田部３丁目２８４番における共同住宅建設に伴う埋蔵文化財の有無についての照会を平成30年７月18日付けで受理した。

これを受けて埋蔵文化財課事前審査係は、申請地が周知の埋蔵文化財包蔵地である有田遺跡群に含まれていること、確認調査が実施され現地表面下約80cmで遺構が確認されていることから、遺構の保全等に関して申請者と協議を行った。

その結果、埋蔵文化財への影響が回避できないことから、共同住宅建設部分について記録保存のための発掘調査を実施することで合意した。

その後、平成30年11月１日付で個人を委託者、福岡市長を受託者として埋蔵文化財発掘調査業務委託契約を締結し、同年11月13日から発掘調査を、翌令和元年度に資料整理および報告書作成をおこなうこととなった。

２．調査の組織

調査委託：個人

調査主体：福岡市教育委員会

（発掘調査：平成30年度・資料整理：令和元年度）

調査総括	経済観光文化局文化財活用部埋蔵文化財課	課長	大庭　康時	（30年度）
			菅波　正人	（元年度）
		同課調査第２係長	大塚　紀宣	（30年度）
		同課調査第１係長	吉武　　学	（元年度）
庶　　務	文化財活用課	管理調整係	松原加奈枝	（30・元年度）
事前審査	埋蔵文化財課	事前審査係長	本田浩二郎	（30・元年度）
		同課事前審査係主任文化財主事	田上勇一郎	（30・元年度）
		同課事前審査係文化財主事	朝岡　俊也	（30・元年度）
調査担当	埋蔵文化財課	文化財主事	清金　良太	

その他、発掘調査に至るまでの条件整備、調査中の調整等について事業主様をはじめとする皆様には多大なご理解とご協力をいただき、調査が円滑に進行し無事に終了することができました。ここに深く感謝します。

第12図　有田遺跡群調査地点位置図（1/7,500）

調査次数	調査番号	調査原因	所在地	調査面積㎡	福岡市報告書(集)
1	6501	区画整理	大字有田	500.0	1 九州大学調査
2a	6603	区画整理	大字有田	900.0	2 九州大学調査
2b	7322		南庄		
3a	7503	共同住宅	小田部1丁目152	1,000.0	43
3b	7504	共同住宅	有田1丁目23－1	1,836.6	43・155
4	7710	共同住宅	小田部2丁目139		470
5	7711	共同住宅	小田部3丁目184, 185	750.0	113
6	7712	共同住宅	有田1丁目20－3		377
7	7821	個人住宅	有田1丁目8－10	573.0	81
8	7822	個人住宅	有田1丁目13－12	191.0	81
9	7823	個人住宅	小田部1丁目174－12	135.0	870
10	7824	個人住宅	小田部2丁目54	200.0	870
11	7825	個人住宅	小田部3丁目312	67.0	870
12	7826	個人住宅	有田1丁目37－11	304.0	870
13	7827	個人住宅	小田部2丁目73－2	60.0	870
14	7828	個人住宅	小田部3丁目281－2	372.0	870
15	7829	個人住宅	小田部1丁目54－1	368.0	971
16	7830	個人住宅	小田部5丁目	163.0	870
17	7831	個人住宅	有田1丁目20－9	136.0	58
18	7913	個人住宅	有田1丁目32－1	17.0	
19	7914	個人住宅	有田1丁目24－4	146.0	96
20	7915	個人住宅	有田2丁目14－20		
21	7916	個人住宅	有田2丁目13－16	155.0	58
22	7917	個人住宅	小田部5丁目25	119.0	58
23	7918	個人住宅	有田1丁目26－2	329.0	58
24	7919	個人住宅	有田2丁目10－7	79.0	58
25	7920	個人住宅	小田部1丁目237－1	101.0	58
26	7921	個人住宅	小田部1丁目219	133.0	58
27	7922	個人住宅	小田部1丁目241	89.0	58
28	7923	個人住宅	有田1丁目20－2	125.0	81
29	7924	個人住宅	有田1丁目33－2	256.0	81
30	7925	個人住宅	有田1丁目27－2	596.0	110
31	7926	個人住宅	有田1丁目34－2	339.0	81
32	7927	個人住宅	有田1丁目29－9	232.0	96
33	8005	個人住宅	小田部1丁目230, 231	296.0	81
34	8006	宅地造成	小田部1丁目157	587.0	81
35	8007	共同住宅	小田部5丁目150	181.0	173
36	8008	個人住宅	小田部5丁目143－2	241.0	96
37	8009	個人住宅	小田部1丁目237－3	147.0	96
38	8010	個人住宅	小田部1丁目198	131.0	96
39	8011	個人住宅	有田1丁目37－82	405.0	113
40	8012	個人住宅	有田1丁目26－1	137.0	96
41	8013	個人住宅	小田部3丁目307	73.0	96
42	8104	個人住宅	有田2丁目85	126.0	96
43	8105	個人住宅	有田2丁目7－88	403.0	155
44	8106	個人住宅	有田2丁目14－9	223.0	110
45	8107	個人住宅	有田2丁目22－15	24.0	96
46	8108	個人住宅	小田部5丁目143－1	164.0	110
47	8109	個人住宅	有田1丁目28－7, 8	372.0	110
48	8110	個人住宅	小田部2丁目140	458.0	110
49	8111	共同住宅	小田部2丁目20, 21	384.0	110
50	8112	個人住宅	小田部3丁目11－2, 6－2	123.0	377
51	8113	店舗	有田1丁目23－6	314.0	113
52	8114	個人住宅	小田部2丁目110－2	483.0	139
53	8115	共同住宅	有田1丁目28－3, 4	425.0	113
54	8116	寺社	有田2丁目16－1	233.0	427
55	8117	個人住宅	有田1丁目33－3	290.0	110
56	8118	寺社	有田1丁目32－9	146.0	113
57	8119	個人住宅	有田1丁目37－2	109.0	113
58	8120	個人住宅	南庄3丁目185, 186	167.0	377
59	8121	保育園	小田部3丁目177	838.0	84,139
60	8122	道路	小田部3丁目178－2	21.0	139
61	8123	倉庫	有田2丁目21－2	119.0	377
62	8133	学校	有田七田前391－3外	1,260.0	95
63	8204	個人住宅	小田部1丁目224	115.0	110
64	8205	共同住宅	小田部5丁目141－1外	311.0	155
65	8206	個人住宅	有田2丁目7－10	36.0	377
66	8207	個人住宅	有田1丁目20－1	503.0	113
67	8208	土地売買	小田部1丁目171外	685.0	377
68	8209	個人住宅	有田2丁目17－24	76.0	427
69	8210	個人住宅	有田1丁目13－10	202.0	427
70	8211	個人住宅	有田1丁目17－1,2	136.0	173
71	8212	個人住宅	有田1丁目22－4, 7	341.0	173
72	8213	個人住宅	有田1丁目26－3	482.0	173
73	8214	個人住宅	小田部1丁目189	62.0	427
74	8215	個人住宅	有田2丁目7－80	1,010.0	471
75	8216	個人住宅	有田1丁目27－11, 7	424.0	110
76	8304	土地売買	南庄3丁目114－3	289.0	113
77	8305	共同住宅	有田1丁目30－1～3	385.0	471
78	8306	個人住宅	有田2丁目20－2	398.0	471,538
79	8307	個人住宅	小田部1丁目225－1	109.0	538
80	8308	土地売買	小田部1丁目168	764.0	547
81	8309	共同住宅	有田1丁目	8,000.0	129
82	8310	土地売買	有田1丁目29－13, 14	405.0	139
83	8311	共同住宅	有田1丁目127－3	300.0	139
84	8312	個人住宅	有田2丁目7－66	196.0	
85	8313	個人住宅	南庄3丁目261－1	93.0	
86	8314	個人住宅	小田部5丁目143－3	220.0	113
87	8315	個人住宅	有田2丁目12－6	230.0	139
88	8316	個人住宅	有田1丁目8－7	221.0	
89	8317	個人住宅	南庄3丁目261－1	230.0	
90	8318	個人住宅	小田部5丁目149－1	226.0	
91	8417	共同住宅	小田部3丁目153	282.0	
92	8418	個人住宅	有田1丁目26－6	195.0	
93	8419	個人住宅	小田部3丁目401	54.0	
94	8420	個人住宅	南庄3丁目172	279.0	
95	8421	倉庫	有田1丁目31－4	657.0	139
96	8422	駐車場	有田1丁目20－5	426.0	
97	8423	土地売買	南庄3丁目90	305.0	139
98	8424	共同住宅	小田部5丁目44	257.0	
99	8425	共同住宅	小田部1丁目147, 150	252.0	
100	8510	共同住宅	有田2丁目13－2	650.0	212
101	8511	個人住宅	有田1丁目32－2	215.0	139
102	8512	個人住宅	小田部2丁目178	330.0	173
103	8513	個人住宅	小田部3丁目287	501.0	212
104	8514	学術調査	有田七田前387－1	544.0	九州大学調査
105	8515	個人住宅	小田部2丁目178	660.0	173
106	8538	個人住宅	小田部5丁目162	706.0	651
116A区	8543	個人住宅	小田部3丁目189－1	435.0	308
107	8602	倉庫	有田1丁目31－1, 31－2	879.0	234
108	8603	共同住宅	有田1丁目27－1外	787.0	155,173
109	8611	個人住宅	有田1丁目37－8	110.0	173
110	8623	個人住宅	有田3丁目71	231.0	308
111	8624	個人住宅	有田1丁目37－3	135.0	173

第１表　有田遺跡群調査一覧表（１）

調査次数	調査番号	調査原因	所在地	調査面積㎡	福岡市報告書(集)
118	8639	下水道埋設	有田1, 2丁目地内	2,647.0	266
112	8644	個人住宅	有田2丁目9－2	264.0	308
113	8646	個人住宅	有田1丁目28－6	138.0	234
114	8651	駐車場	小田部5丁目51－2外	888.0	308
115	8655	個人住宅	有田3丁目8－53	160.0	684
116B区	8656	個人住宅	小田部3丁目189－1	335.0	308
117	8657	個人住宅	小田部3丁目3－14	163.0	173
119	8701	個人住宅	南庄3丁目270－1, 271－4	203.0	264
120	8705	個人住宅	有田1丁目38－3, 9	77.0	234
121	8706	個人住宅	小田部5丁目154－2	165.0	264
122	8707	個人住宅	小田部2丁目11－16	375.0	173
123	8712	下水道埋設	有田1, 2丁目 小田部2～4丁目地内	2,544.0	266
124	8713	共同住宅	有田1丁目24－4	650.0	725
125	8718	個人住宅	小田部5丁目171	722.0	340
126	8724	個人住宅	小田部1丁目34－9	111.0	264
127	8729	個人住宅	小田部1丁目418－1	180.0	264
128	8730	個人住宅	南庄3丁目116	213.0	264
129	8735	個人住宅	小田部2丁目38	386.0	264
130	8739		小田部2丁目185－2	293.0	212
131	8742		小田部2丁目131	118.0	234
132	8749		有田1丁目8－3	142.0	1067
133	8750		有田1丁目32－4	443.0	234
134	8753		有田2丁目12－3, 4	406.0	212
135	8754		有田2丁目361	145.0	340
136	8803		有田2丁目22－3	460.0	378
137	8804		有田1丁目8－4	134.0	1067
138	8811		小田部1丁目204	801.0	308
139	8813	下水道埋設	小田部2, 3丁目	5,500.0	266
140	8815		有田1丁目29－10	155.0	340
141	8822		有田1丁目33－6	250.0	378
142	8836		小田部5丁目17－10	790.0	378
143	8836		小田部5丁目73－74	562.0	378
144	8844		有田1丁目25－4	405.0	264
145	8851		小田部2丁目90	682.0	340
146	8853		有田1丁目32－6	80.0	234
147	8854		有田2丁目13－5	228.0	426,651
148	8861		有田1丁目18－4	414.0	340,426
149	8905	分譲住宅	有田1丁目21－3	145.0	234
150	8912	自宅兼共同住宅	小田部3丁目163	1,087.0	725
151	8919	分譲住宅	小田部1丁目203－207	70.0	308
152	8953	店舗	小田部5丁目48, 49	770.0	265
153	8960	宅地造成	小田部5丁目70, 71	263.0	426
155	8965	下水道埋設	有田地内	573.5	266
156	8979	個人住宅	有田1丁目12－2	131.0	264
157	8980	個人住宅	小田部5丁目131－1	128.0	264
158	9020	個人住宅	有田1丁目34－3	214.0	308
159	9027	事務所	小田部3丁目251	207.0	307
160	9029	共同住宅	小田部3丁目251	508.0	339
161	9033	下水道埋設	有田地内	200.0	266
162	9034	共同住宅	小田部1丁目108他	132.0	264
163	9036	共同住宅	小田部1丁目123	150.0	307
164	9041	共同住宅	小田部2丁目106	416.0	308
165	9047	倉庫	有田1丁目21－11	198.0	307
166	9106	個人住宅	小田部5丁目5－39外	409.0	年報６
167	9117	校舎	小田部3丁目32－1	520.0	434
168	9132	個人住宅	小田部5丁目154－1	455.0	684
169	9147	共同住宅	有田1丁目25－1	175.0	339
170	9251	市営住宅	小田部3丁目179－1	750.0	473
171	9301	診療所	小田部1丁目104,507	447.0	870
172	9332	共同住宅	小田部5丁目61	717.0	472
173	9338	道路	小田部3丁目189－1, 198	250.0	473
174	9340	共同住宅	小田部2丁目194, 195	143.0	年報８
175	9401	共同住宅	小田部5丁目160～164	640.0	513
176	9417	個人住宅	有田1丁目6－1	123.0	470
177	9422	共同住宅	小田部5丁目150－3	480.0	513
178	9516	共同住宅	南庄3丁目214	747.0	512
179	9524	店舗付共同住宅	小田部2丁目102番地外	120.0	513
180	9527	個人住宅	小田部3丁目158－1番地	292.0	684
181	9607	学習塾	有田2丁目31－4	464.0	574
182	9625	個人住宅	有田1丁目10－4	351.0	657
183	9634	事務所	有田2丁目24－26	66.0	870
184	9676	通信塔	有田1丁目32－8	150.0	574
185	9717	個人住宅	小田部1丁目126	120.0	年報12
186	9721	共同住宅	小田部3丁目285, 286	252.0	657
187	9727	個人住宅	有田2丁目12－5	494.0	657
188	9759	共同住宅	有田1丁目31－6	249.0	608
189	9803	共同住宅	有田2丁目	1,290.0	649
190	9832	個人住宅	有田1丁目1－10－7	27.2	657
191	9847	個人住宅	小田部3丁目	169.5	870
192	9914	個人住宅	有田2丁目13－3	72.7	657
193	9924	個人住宅	小田部1丁目393	9.0	657
194	9929	農機具倉庫	南庄3丁目181	78.0	784
195	9931	個人住宅	小田部5丁目16－3	131.0	784
196	9967	店舗付個人住宅	小田部3丁目16, 17－2	69.0	784
197	0013	個人住宅	小田部1丁目33－13	48.0	年報15
198	0020	個人住宅	南庄3丁目205－5	45.0	870
199	0036	自動車展示場	有田2丁目20－8他	45.0	870
200	0038	個人住宅	有田1丁目8番14	169.0	870
201	0103	個人住宅	小田部1丁目16－2	105.6	784
202	0117	共同住宅	南庄3丁目255の一部, 256	502.0	735
203	0213	個人住宅	小田部5丁目82－1, －2	119.4	784
204	0231	店舗併用住宅	有田1丁目25－13, －12	74.0	784
205	0256	自宅兼共同住宅	小田部2丁目155－1, 156	346.0	869
206	0301	個人住宅	南庄3丁目72番3	66.0	870
207	0359	共同住宅	有田1丁目16－3	50.0	年報18
208	0412	道路南庄小田部線	小田部5丁目87－2, 87－3	91.0	年報19
209	0416	共同住宅	小田部5丁目49－2, 50－1, 51－2, 54－1	67.0	年報19
210	0417	個人住宅	有田1丁目12－9	40.0	870
211	0428	共同住宅	小田部5丁目193	433.0	871
212	0429	個人住宅	有田2丁目20－10	195.0	年報19
213	0438	個人住宅	小田部5丁目170－1	106.0	年報19

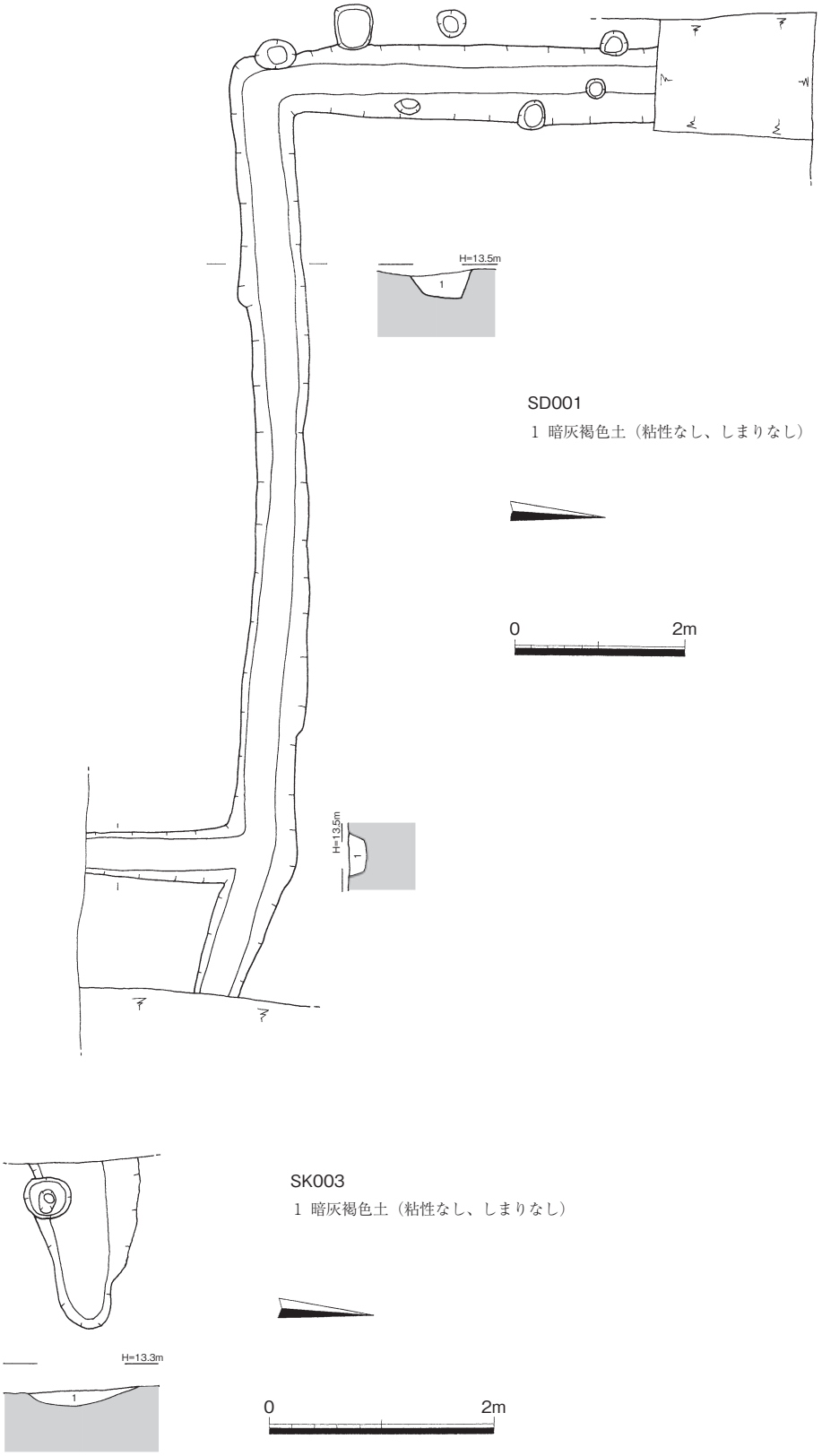
第２表　有田遺跡群調査一覧表（２）

調査次数	調査番号	調査原因	所在地	調査面積㎡	福岡市報告書(集)
214	0448	個人住宅	小田部5丁目60番の一部	128.0	年報19
215	0466	個人住宅	小田部5丁目60番の一部	48.0	870
216	0484	共同住宅	小田部2丁目91, 92－1, 92－2	1,405.3	919
217	0508	個人住宅	有田1丁目11－4	39.4	年報20
218	0515	個人住宅	有田1丁目12－7	95.8	920
219	0519	個人住宅	小田部5丁目15－5	32.4	920
220	0542	個人住宅	有田1丁目12－6の一部	37.4	年報20
221	0549	共同住宅	有田1丁目31－5	59.2	1067
222	0557	個人住宅	有田1丁目31－5	38.1	920
223	0565	個人住宅	小田部3丁目204－2	107.1	1067
224	0616	個人住宅	小田部5丁目47－1, 47－2	98.5	920
225	0638	個人住宅（車庫）	有田1丁目33－7	34.5	920
226	0735	スポーツクラブ	小田部2丁目139, 140, 141, 142, 144	810.0	1024
227	0753	個人住宅	小田部1丁目387番1	81.0	年報22
228	0814	個人住宅	有田1丁目11番9	71.0	1067
229	0816	個人住宅	小田部1丁目177番4	26.0	1067
230	0834	共同住宅	有田2丁目20－1, 20－13	300.0	1068
231	0848	個人住宅	小田部1丁目216－1	80.6	1067
232	0858	個人住宅	小田部3丁目247番	202.0	1067
233	0925	個人住宅	有田1丁目8番8	131.5	
234	0927	有田西公園改築	有田1丁目	1,070.0	1134
235	0931	個人住宅	有田1丁目32番5, 32－14	324.0	
236	1031	個人住宅	有田2丁目14番35, 14番10, 14番34	113.0	1135
237	1032	駐車場	有田1丁目20－1	22.5	1135
238	1033	共同住宅	有田1丁目3番1, 3番12	243.0	1176
239	1039	個人住宅	有田2丁目14番36	95.0	1135
240	1124	宅地造成	小田部5丁目38番2他	84.0	年報26
241	1128	個人住宅	有田1丁目10番11	69.3	
242	1129	個人住宅	有田1丁目25－16	44.2	
243	1130	個人住宅	小田部2丁目191番	56.7	
244	1146	個人住宅	有田1丁目10番5	167.0	
245	1209	戸建住宅	小田部5丁目20番, 21番	185.0	1214
246	1230	部室増築	有田3丁目9番1号	104.2	1215
247	1303	個人住宅	有田1丁目32番11	203.0	
248	1305	個人住宅	有田1丁目22番1の一部	68.0	1249
249	1307	共同住宅	小田部2丁目57	128.9	
250	1317	店舗	有田2丁目13番1, 13番5	811.0	1250
251	1325	戸建住宅	小田部1丁目226－2, 226－6	317.7	
252	1326	個人住宅	小田部1丁目226－1, 226－3, 225－3	245.9	
253	1329	車庫	有田1丁目13番4	15.0	年報28
254	1407	個人住宅	小田部1丁目174番1	93.4	年報29
255	1418	擁壁	小田部1丁目34番		年報29
256	1425	個人住宅	小田部2丁目55番5	35.1	年報29
257	1433	戸建住宅	有田1丁目18番1	73.1	年報29
258	1445	個人住宅	小田部5丁目134番2, 131番4	115.0	
259	1504	擁壁工事	小田部2丁目22番	65	
260	1518	宅地造成	小田部2丁目56番の一部	86.79	年報30
261	1527	共同住宅	有田1丁目28番1	141	年報30
262	1503	宅地造成	小田部2丁目49他	719.0	1305
263	1546	共同住宅	小田部2丁目4番地	242.9	
264	1715	擁壁	有田1丁目8番5		
265					
266	1819	戸建住宅	有田1丁目32－6, 32－7	52	本報告
267	1822	戸建住宅	有田2丁目16－7	58	本報告
268	1831	共同住宅	小田部3丁目284番	111.6	本報告

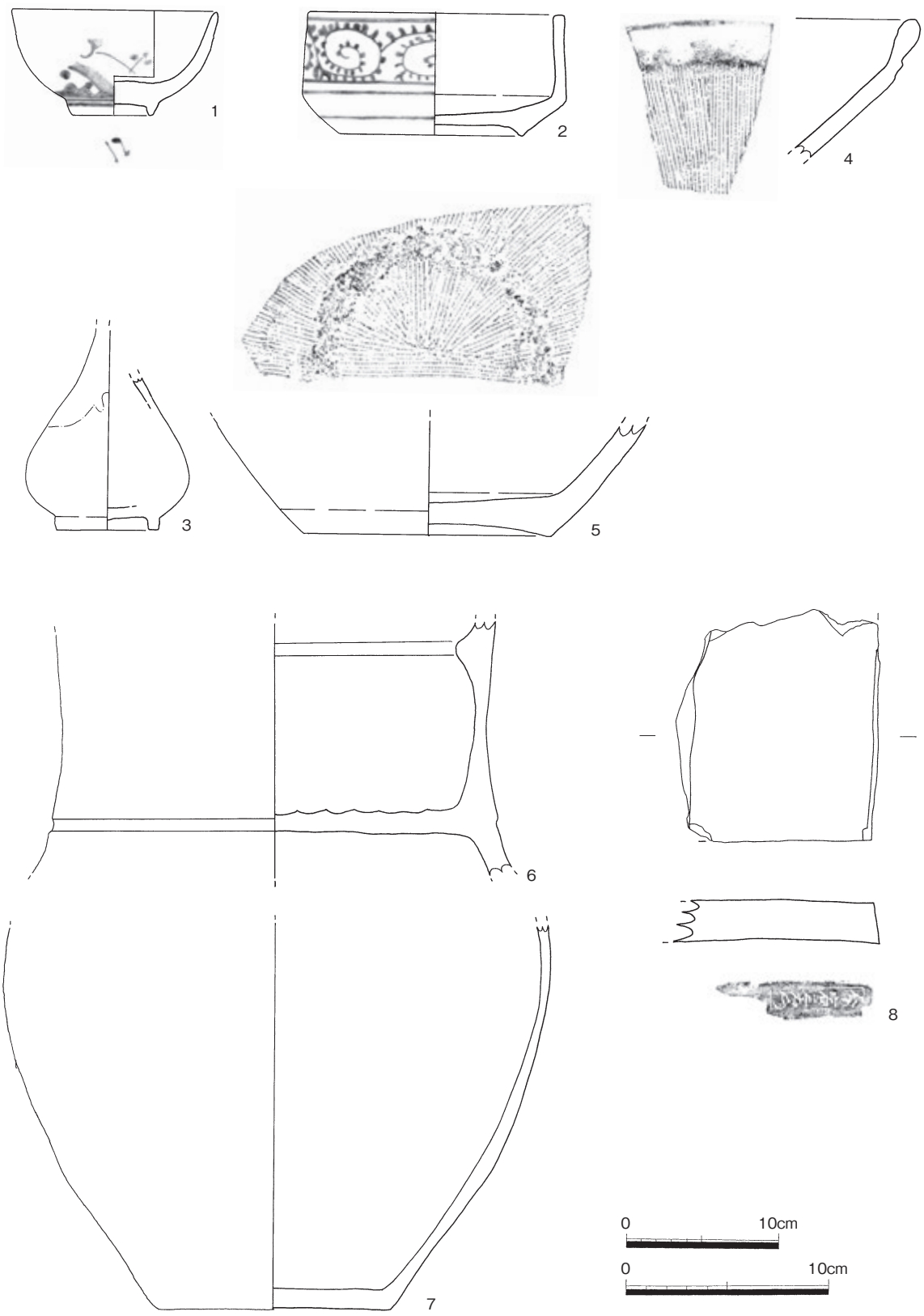
第３表　有田遺跡群調査一覧表（３）

第13図　調査区位置図（1/1,000）

第14図　調査区全体図（1/100）



第15図　SD001（1/80）・SK003実測図（1/60）



第16図　SD001出土遺物実測図（7は1/4、他は1/3）

３．調査の概要（第12・13・14図、表３）

調査区は有田遺跡群の中央部西側に位置する。標高約11ｍの台地西側斜面上に位置する。申請地の南側を走る道路は西側に下っており、台地のトップから下っていく途中に立地している。周囲を103・117・159・186次調査が行われており、東側の186次調査では本調査区と同様に近世の屋敷を囲う溝が検出されている。検出遺構は近世の屋敷を囲う溝が検出され、遺物は近世の高取焼をはじめ、「今宿三右門」の銘がある瓦が検出された。また、ピットからはおそらく弥生土器と考えられる破片が数点検出されたが、小さい破片であったため図化していない。

４．遺構と遺物

１）溝（SD）

SD001（第15図）調査区の西側から南側にかけて、約90°に曲がって検出された溝である。幅28～36cm、深さ10～20cmである。さらに、南側で約90°に分岐している。埋土は暗灰茶褐色土であり、粘性は無い。

出土遺物　（第16図）１、２は肥前産の磁器である。１は碗で高台底部以外を施釉し、草花紋が描かれる。高台内にも施文がみられる。高さ5.2cm、底径3.9cmである。２は段重で蛸唐草紋が描かれる。口縁部と底部は露胎である。高さ5.9cm、口径11.4cm、底径8.8ｃｍである。３は高取焼の一輪挿しである。鉄釉の後に藁灰釉を施す。高台底部の釉薬はかき取る。最大径8.0cm、底径5.0cmである。４・５は高取焼の擂鉢であり、鉄釉を施す。すり目は８本１単位である。４は玉縁状の口縁部が残る。５は底径12.0cmである。６は七輪である。高さ約12.4cm、径約23cmが残り、底部上面は轆轤削り。７は陶器の甕である。底径15.0cm、最大径35.2cmが残る。８は桟瓦である。「今宿三右門」の刻印が確認できる。今宿の瓦師は17世紀末頃、すでに今宿三右衛門の銘で生産が始まっており、1980年代前半まで生産が行われたようである。

２）土坑（SK）

SK003（第15図）調査区の南西隅で検出した。幅98cm、深さ13cmである。遺物は出土していないが、土の堆積状況から、おそらくSD001と同時期と考えられる。

５．まとめ

第268次調査では近世の屋敷に伴う溝と土坑、弥生時代のピットを検出した。土坑からは遺物が検出されなかったが、埋土は暗灰茶褐色土であり、溝と同じであることから同時期のものであろう。

検出されたSD001について、申請地の南側の道路とほぼ平行に溝が走っている状況であった。この状況は「有田・小田部３５」の第186次調査で述べられている通り、屋敷地の南側の境界を示すものであろう。また、現在の敷地南側の道路が江戸時代から続いている蓋然性が高い。溝の出土遺物も肥前系、高取系のものが多く江戸時代の生活を考えるうえで貴重な資料となった。

図 版 1

（1）調査区全景（東から）

（2）調査区全景（北から）

（3）作業風景

図 版２

出土遺物

報　告　書　抄　録

ふりがな	ありた・こたべ59
書　　名	有田・小田部59
副　書　名	―有田遺跡群第266・267・268次調査報告―
シリーズ名	福岡市埋蔵文化財調査報告書
シリーズ番号	第1386集
編 著 者 名	松﨑友理、板倉有大、清金良太
編 集 機 関	福岡市教育委員会
所　在　地	〒810-8621　福岡県福岡市中央区天神１丁目８番１号　　TEL 092－711－4667
発行年月日	2020年3月25日

ふりがな 所収遺跡名	ふりがな 所在地	コード		北緯	東経	発掘期間	発掘面積 ㎡	発掘原因
		市町村	遺跡番号					
ありた いせきぐん 有田遺跡群 第266次	ふくおかけんふくおかしさわらく 福岡県福岡市早良区 ありた 1ちょうめ 有田１丁目32-6、32-7	40135	0309	33°33′49″	130°20′00″	20180910 ～ 20180920	52	記録保存調査

所収遺跡名	種別	主な時代	主な遺構	主な遺物	特記事項
有田遺跡群 第266次	集落	弥生時代～ 古墳時代、中世	竪穴住居跡、総柱建物跡、溝	弥生土器、土師器、陶磁器、土製品、石製品、鉄製品	

要　約	竪穴住居跡１軒と総柱建物跡１棟、溝１条を検出した。竪穴住居跡は出土遺物から弥生時代終末から古墳時代初頭に推定される。溝は本調査地の南側に位置する第133次調査で検出された溝につながるとみられ、中世に掘削され、近世に埋没したと考えられる。

ふりがな 所収遺跡名	ふりがな 所在地	コード		北緯	東経	発掘期間	発掘面積 ㎡	発掘原因
		市町村	遺跡番号					
ありた いせきぐん 有田遺跡群 第267次	ふくおかけんふくおかし 福岡県福岡市 さわらくありた 早良区有田	40135	0309	33°33′39″	130°20′7″	20180925 ～ 20180929	58	記録保存調査

所収遺跡名	種別	主な時代	主な遺構	主な遺物	特記事項
有田遺跡群 第267次	集落	中世、近世	大溝（堀）、土坑	土器、陶器、磁器	小田部城推定地内の堀

要　約	南北方向に検出されたSD01は、断面V字形で、幅3.6m、深さ2.7mを測り、戦国時代の「薬研堀」と考えられる。下層遺物や中世遺物は確認できなかったが、中層から17世紀代の陶器が出土した。江戸時代の地誌などに「小田部城」の記載があり、今回発見された大溝（堀）SD01は、これと関連するものと考えられる。

ふりがな 所収遺跡名	ふりがな 所在地	コード		北緯	東経	発掘期間	発掘面積 ㎡	発掘原因
		市町村	遺跡番号					
ありた いせきぐん 有田遺跡群 第268次	ふくおかけんふくおかしさわらく 福岡県福岡市早良区 こたべ 3ちょうめ 284ばん 小田部３丁目284番	40137	0309	33°34′09″	130°19′50″	20181113 ～ 20181130	111.6	記録保存調査

所収遺跡名	種別	主な時代	主な遺構	主な遺物	特記事項
有田遺跡群 第268次	集落	弥生時代、近世	溝、土坑	弥生土器、陶器、磁器	近世の屋敷跡を確認

要　約	近世屋敷の溝跡を検出した。溝から出土した瓦には「今宿三右門」の銘が確認できた。

有田・小田部59

— 有田遺跡群第266・267・268次調査報告 —

福岡市埋蔵文化財調査報告書第1386集

2020年（令和２年）３月25日

発　行　福岡市教育委員会

福岡市中央区天神１丁目８番１号

印　刷　株式会社 弐

福岡市博多区吉塚５丁目13番40号